

令和3年度 「ハッピー♥スマイル」 第1回開催報告

- 【日時】 令和3年7月18日（日）13:00～
【場所】 浅口市健康福祉センター
二階研修室
【参加者】 保護者4名 救急救命士1名
医師1名 養護教諭1名



1 開会

2 アレルギー情報提供

① 知って安心！災害対策（すこやかライフ No.55）

西日本豪雨災害から3年が経過。その後も毎年のように豪雨災害が発生し、避難生活を余儀なくされることも増えている。喘息や食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の持病のある子どもたちの保護者の方にとっては、一層心身の負担が大きくなる。すこやかライフ No.55 に災害対策の特集の記事があり紹介。

《避難準備》基本の防災の備え

- お薬手帳のコピー（スマホで写メも可）
- 薬1週間分
- 緊急時お願いカード（氏名・住所・医療機関名・病名・連絡先など）
- 日ごろから病気のコントロールをきちんとしておく。

《避難所生活》

- 避難所に着いたら、病名やどのような注意が必要か担当者に伝える。
- 表示カードやビブスも使用する。
- 手指衛生やマスク・咳エチケットなど感染予防をとる。
- アナフィラキシーに注意（エピペン準備）

《長期化を見据えて》

- 長期化すると疲労・ストレスで症状の悪化や再発がある。
気分転換や適度な運動を心掛ける。
- 薬が少なくなったら、早めに担当者に伝える。



②東京都調布市の避難所における食物アレルギー対応について

避難所受入れ時の対応・食物アレルギー用のビブスの配布・食品の配布などについてホームページよりダウンロードしたものを説明。

3 情報交換

- 学校給食での対応があまりに杜撰で、何度お願いしても改善されないために毎日弁当持参とした。給食時での不安がなくなり、気分的にも落ち着いた。
- 1歳半で卵・乳・小麦の食物アレルギーあり。スキンケアをしっかりとしながら、卵・乳は少量ずつ取れるようになってきている。米粉のパンを食べさせているが、新潟県で起きた5年生の児童が米粉のパンをのどに詰まらせ、死亡したという記事を見て驚いた。モチモチしているために与えるときは大きさも慎重に考えなければならないと思った。保育園やこども園の入園も考える時期に来ており、検討している。アレルギーの給食対応をどの程度してくれているか気になる場所である。事前にアレルギー対応について話を聴きたい。
- 学校からの献立表の配布が遅い。アレルギーチェックをして返送しなければならないので、もう少し早くしてほしい。献立は、少しずつ改善されており、今後も地道にお願いするしかない。

○校外研修時の緊急対応について（救急救命士・養護教諭より）

- ①消防署への情報提供（ほとんどの学校が行っていないので保護者から連絡するのがよい。）
- ②主治医に診療情報提供書を書いていただくように依頼しておく。研修時にはエピペンと一緒に持参しておく。
- ③研修場所近くの医療機関を確認しておく。
- ④エピペンは、日陰で保管する。

10年の長きにわたりアレルギー対応の手作りのケーキを始め、スイーツを販売されていた木の丸洋菓子店の山岡さんが閉店の挨拶に来られました。地元だけでなく、近県や関東の方にまで知られており、大切な記念日には皆さん楽しみに予約注文され、思い出に残る美味しいケーキなどでお祝いすることが出来ました。ハッピースマイルも大変お世話になりました。1月には恒例のアレルギー対応のお菓子作りの講師としてきていただき、親子共々楽しい一時を過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。また、機会があればぜひ一緒にお菓子作りを教えていただけたら嬉しいです。本当にありがとうございました。



山岡さん講師のお菓子作りアルバム



次回は、令和3年9月19日（日）金光公民館で開催します。情報交換の予定です。新型コロナウイルス感染症の状況により、中止するかもしれません。事前にホームページでの確認をお願いします。

（浅口医師会 高山晴彦）